

データヘルス計画書（健保組合共通様式）

【参考事例】

計画策定日：平成 年 月 日

最終更新日：平成 年 月 日

日立健康保険組合

* データヘルス計画書（健保組合共通様式）【参考事例】は、健康保険組合の皆様にデータヘルス計画の策定における手順を具体的にイメージしてもらい、計画策定を円滑に進めていただくためのものです。これらの計画書を参考にする際には、以下の点についてご注意ください。

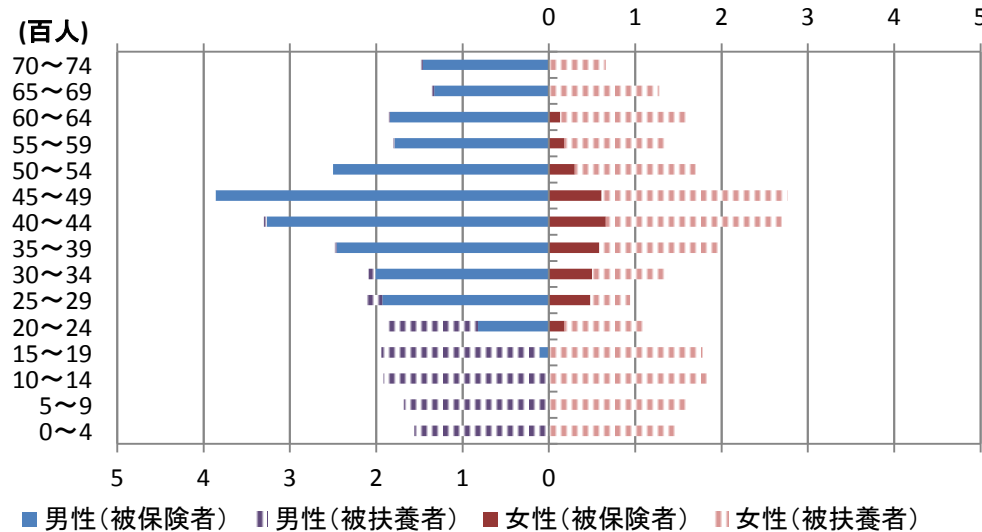
- (1) 事例は、それぞれの健康保険組合の形態や規模、加入者の属性のみでなく、これまで実施してきた取組等を踏まえて作成されていることから、特定の事例の記載内容を一律に模倣するのではなく、各健康保険組合の実情に応じた独自のデータヘルス計画を策定すること
- (2) 計画の策定に係る基本的な考え方についての理解を深めるために、「データヘルス計画の作成の手引き」等についても併せて参考すること
- (3) 事例はすべての健康保険組合に先行して作成しているため、項目の記載時点は、入力用ツールに記載されている時点とは異なる場合があるが、計画書に記載すべき各記載項目の時点については、「データヘルス計画書（健保組合共通様式）」に関する記載要領等に則って入力すること
- (4) 成果（アウトカム）目標および事業量（アウトプット）目標ならびに事業目的の設定については、事例を参考としながら可能なかぎり自組合で評価可能な客観的な指標を用いること

STEP 1 - 1 基本情報

「全健保組合共通様式」

組合コード	28389
組合名称	日立健康保険組合
形態	単一
被保険者数（平成27年度予算 注） * 特例退職被保険者を除く。	228,913名 男性84.6%（平均年齢42.8歳）* 女性15.4%（平均年齢39.7歳）*
特例退職被保険者数	33,700名
加入者数（平成27年度予算 注）	548,306名
適用事業所数	313カ所
対象となる拠点数	1,000カ所
保険料率（平成27年度 注）*調整を含む。	870.0%
	全体 被保険者 被扶養者
特定健康診査実施率（平成25年度）	71.3% 88.5% 42.0%
特定保健指導実施率（平成25年度）	6.5% 6.5% 0.0%

		健康保険組合と事業主側の医療専門職 （平成27年3月末見込み）	
		常勤	非常勤
健保組合	顧問医	0	0
	保健師等	0	0
事業主	産業医	40	195
	保健師等	130	0



(注) 記載要領参照

保健事業費	予算額（千円）	被保険者一人当たり金額
	（平成27年度 注）	（円）
特定健康診査事業費	5,270,682	23,025
特定保健指導事業費	299,109	1,307
保健指導宣伝費	103,499	452
疾病予防費	3,522,851	15,389
体育奨励費		0
直営保養所費	138,704	606
その他	323,819	1,415
小計 …a	9,658,664	42,194
経常支出合計（千円） …b	146,427,925	
a/b×100（%）		6.60

- ・大規模な健保組合（被保険者26万3千人、加入者54万8千人）である。
- ・特定健保であり、特例退職者（被保険者・被扶養者）が6万4千人以上いる。
- ・グループ健保の段階的な合併の影響もあり、適用事業所は300を超え、拠点も全国にあり、加入者も点在している。
- ・40歳代に加入者構成が偏っている（40歳代被保険者は、被保険者全体比30.5%）。

STEP 1 - 1 基本情報

「全健保組合共通様式」

・当健保組合には、医療職専門職が不在。

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

健保組合の取組															
予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因			
特定健康診査事業	1	被扶養者向け健診	【目的】健診受診率の向上 【概要】契約健診機関が少ない地区で、被扶養者（女性）向けに特定健診とがん検診（乳・子宮・大腸）をセットにしたメニューで巡回型の集団健診を実施	被扶養者	一部の事業所	女性	30	～	64	基準該当者	244,212	H25年度実績 ・24会場 92回開催 ・受診者数 5,057名（受診案内対象者数：34,338名） 受診率：14.7%	・比較的に少ない自己負担（3,000円） ・女性スタッフでの対応 ・短時間受診（40分～1時間程度/人）	・周知・PRの不足	3
	2	オーダーメイド型情報提供	【目的】意識付け 【概要】個々人の健診結果について、Webで個別に健康情報の提供を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	30	～	74	全員	9,713	H25年度実績 ・アクセス数 25,340（健診受診者数：225,536名）閲覧率：11.2%	・自身の健診結果に基づく、オーダーメイド型健康情報の提供	・結果データ登録日と受診日の乖離（受診日から登録まで時間が掛っている） ・周知・PR不足	1
	1	被保険者健診結果保管	【目的】特定健診結果の保管 【概要】従業員の特定健診結果の保管のため、事業主健診受診者の特定健診結果分の受領として、一部健診補助を実施	被保険者	全て	男女	35	～	65	基準該当者	3,069,504	H25年度実績 ・健診結果保管件数（受診者数）：149,429件（対象者数：157,459名） ・保管率（受診率）：94.9%	・健保契約健診機関からの健診結果直接受領対応	・契約健診機関外での受診分の低い結果受領率	4
	1	被扶養者向け健診（日立デー）	【目的】健診受診率の向上 【概要】大都市圏の契約健診機関を特定の日、日立健保で貸切り、被扶養者（女性）向けに特定健診とがん検診（乳・子宮・大腸）をセットにしたメニューで健診を実施	被扶養者	全て	女性	30	～	64	基準該当者	107,548	H25年度実績（トライアル実施） ・4機関 23回開催 ・受診者数 727名（受診案内対象者数：8,634名）受診率：8.4% ・対定員：94%の充足状況	・比較的に少ない自己負担（3,000円） ・主に女性スタッフで対応 ・専用日（貸切り）で、ゆっくり受診 ・アクセス、受診環境の良い健診機関	・H26年度より全国展開	4
特定保健指導事業	3	特定保健指導（積極的支援）	【目的】メタボ改善 【概要】特定保健指導対象者に対し、積極的支援内容の支援を実施	被保険者	全て	男女	35	～	58	基準該当者	299,109	H25年度実績 ・初回面談実施者数：2,084（対象者数：42,902）実施率：4.9% ・完了者数：1,863 途中中断者数：209	・階層化結果に関わらず、積極的支援内容の支援を実施 ・特定健診受診後、3ヶ月以内での初回面談開始	・低い参加率 ・周知・PR不足 ・事業主との協力関係の構築不足	1
	3	メタボ重症化予防対策	【目的】疾病進行抑制（重症化予防） 【概要】肥満該当、目つ、血糖、血圧、脂質が受診勧奨域の対象者への生活習慣改善支援を実施	被保険者	一部の事業所	男女	35	～	64	基準該当者	0	H25年度実績 ・実施者数 635（参加率：13.5% 対象者（参加勧奨者）数：4,713）	・45～60分の丁寧な所回時間談の実施	・低い参加率 ・周知・PRの不足 ・事業主との協力関係の構築不足	1
	3	メタボ化対策	【目的】メタボ該当・予備群への流入防止 【概要】メタボ該当・予備群への流入リスクが高い対象者へ生活習慣の改善支援をWebで実施	被保険者	一部の事業所	男女	30	～	64	基準該当者	0	H25年度実績 ・実施者数 410（参加率：4.8% 対象者（参加勧奨者）数：8,481）	・Webのみで完結する手軽さ	・低い参加率 ・事業主との協力関係の構築不足	1

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

保健指導 宣伝	4	機関紙発行	【目的】健保情報・健康情報の周知 【概要】年4回（4、7、10、1月）発行し、従業員は事業所経由、従業員以外（任意継続・特例退職者）は自宅へ送付	被保険者	全て	男女	16	～	74	基準 該当者	64,550	・H25年度実績 発行回数4回（4、7、10、1月）	・年4回のシーズンに合わせた健康情報の提供	・従業員から家族へ届いているかが不明	1
	4	健保ホームページ	【目的】健保情報・健康情報及び各種補助制度の周知 【概要】機関紙のe-bookでの提供の他、各種保健事業制度の案内を機関紙よりさらに詳しい案内を提供	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	330	・機関紙のe-bookでの提供 ・各種補助事業手続きの案内実施（インフルエンザ予防接種、健診補助等）	・新規情報の随時更新	・ネット環境の整備	1
	7	医療費適正化対策	【目的】ジェネリック医薬品の使用促進 【概要】糖尿病等生活習慣病関連疾患罹患患者で服薬者に対し、ジェネリック医薬品への切り替えの差額通知を送付	被保険者 被扶養者	全て	男女	20	～	74	基準 該当者	7,210	H25年度実績 ・年2回の実施 ・差額通知者数 21,115	・個々人へ、変更に伴う差額を提示 ・電話相談窓口の開設	・意識付け（情報提供）の不足	3
疾病 予防	7	インフルエンザ予防接種	【目的】インフルエンザウイルスの予防・感染後の重症化予防 【概要】インフルエンザワクチン接種の費用補助を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	245,026	H25年度実績 ・ワクチン接種補助請求件数 139,844（対象者数：548,306）接種率：25.5%	・タイムリーな情報提供（機関紙10月号に記事掲載）	・補助申請方法の煩雑さ	2
	1	がん検診（その他、生活習慣病等対策検診項目含む）	【目的】がん検診等受診率向上 【概要】がん検診の他、早期発見・早期治療及び予防の観点から、検診費用の一部費用の補助を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	25	～	74	全員	850,584	H25年度実績(一部、抜粋) ・肺がん：14,209名 ・乳がん：42,643名 ・子宮頸がん：38,194名 ・前立腺機能：24,855名 ・甲状腺機能：23,131名 ・動脈硬化度：30,207名 ・脳MR：9,058名	・幅広いメニュー（10部位対応項目：肺がん（肺CT）／乳がん／子宮頸がん／前立腺機能／胃がん／甲状腺機能／動脈硬化度／腹部エコー／肝炎ウイルス／脳MR）	・周知・PRの不足（受診の意義等） ・検査対応可能健診機関数の増加	2
	1	歯科検診	【目的】口腔ケア、早期発見・早期治療及び予防 【概要】希望者に対し、口腔内診査及び保健指導を実施。従業員に対しては、巡回型の集団検診を実施。	被保険者 被扶養者	全て	男女	16	～	74	全員	120,816	H25年度実績 ・従業員：33,174（14.5%） ・従業員以外：525（0.4%）	・検診内容の統一化 ・検診結果の受領（共通フォーマット）	・歯科検診制度の周知・PRの不足 ・意識啓発活動の不足	1
	4	歯科衛生用品の配布	【目的】意識啓発（口腔保健） 【概要】年度末年齢6歳の被扶養者に対し、被保険者経由で歯科衛生用品と意識啓発ガイドを配布し、正しい歯磨き方法等情報提供を行う。	被扶養者	全て	男女	6	～	6	全員	8,138	H25年度実績 ・発送件数：6,296	・11/8（いい歯の日）固定日での送付 ・直接自宅（被保険者住所）への送付	-	2

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

	4	禁煙サポートプログラム	【目的】禁煙対策 【概要】Web上の禁煙日記や禁煙カレンダーを活用し、プログラムに参加している仲間と一緒に禁煙に取り組むプログラム	被保険者 被扶養者	全て	男女	20	～	74	基準 該当者	0	H25年度実績 ・プログラム利用者数：4,862	・禁煙実施者同士での取組みが可能 ・再チャレンジが何度でも可能	・周知・PR不足 ・成功者（継続禁煙）の把握が困難	1
	7	常備薬斡旋	【目的】疾病予防 【概要】健保の実施事業や季節等に合わせた疾病対策に関連する医薬品等を掲載し、比較的安価に斡旋し、自発的な対策に取り組んでもらう。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	0	H25年度実績 ・機関紙（4月号・10月号）の2回に同封 ・申込人数：26,196（申込者率：4.8% 全加入対比）／申込数量：305,763品）	・機関紙への同封 ・掲載品目の多さ	・事業評価方法	2
体 励 育 奨															
直 営 保 養 所	7	直営保養所	【目的】心身のリフレッシュ 【概要】直営保養所3施設（熱海、箱根、日光）の加入者への展開	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	138,704	H25年度実績 ・利用者数：15,694（利用者率：2.9% 全加入者対比） ・利用率：47.2%	・機関紙、健保ホームページ等でのPR ・健康管理事業推進委員会でのPR	・低い利用率	1
そ の 他	4	ウォーキング・プログラム	【目的】健康保持・増進 【概要】多機能歩数計とPCを利用し、Web上で仲間と歩数を競い合ったりし、歩くをテーマに健康保持・増進に取り組む。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	97,723	H25年度実績 ・登録者数：38,678（登録利用率：7.1% 全加入者対比） ・秋のキャンペーン参加者数：6,486（参加登録率：1.2% 全加入者対比）	・毎年秋にウォーキング・キャンペーンを実施（達成賞等インセンティブあり） ・利用者の登録歩数をバスケットに換算し、WFP（国連世界食糧計画）に寄付を実施（社会貢献）	・USBメモリーでのデータ登録環境の減少	2
	5	ファミリー健康相談	【目的】心身の健康度向上と不安の排除 【概要】自身や家族の健康相談を保健師、看護師等専門スタッフに電話やWebでできるサービス	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	13,824	H25年度実績 利用回数：2,140（利用率：0.4% 全加入者比率）	—	・周知・PR不足 ・個人情報への不安	1
	7	健康増進施設（スポーツクラブ）法人契約	【目的】健康保持・増進 【概要】契約スポーツクラブ（3社）の施設を利用し、個々人で健康保持・増進に取り組む	被保険者 被扶養者	全て	男女	16	～	74	全員	113,909	H25年度実績 ・会員登録者数：7,597 利用回数総数：107,294（会員1人当たり、年14回程度利用）	—	・グループ健保合併に加入者の居住地区が拡大し、利便性が良くない地域あり	1
	4	健康増進行事	【目的】従業員の健康保持・増進 【概要】事業所が主体となって行う、健康増進事業（教育セミナー含む）に対し、費用補助を実施	被保険者	全て	男女	16	～	64	全員	16,500	H25年度実績 ・健康増進事業参加者数：9,926（4.3%） ・健康セミナー参加者数：3,806（1.7%）	・事業主健康増進事業との併用	・周知・PR不足	1

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

	4	セルフモニタリング (はらすまダイエット・ライト版)	【目的】健康保持・減量 【概要】体重、歩数といった日々の情報や活動データを入力し、90日間で体重の5%減をめざすWebで完結する自己管理型サービス	被保険者 被扶養者	全て	男女	16	～	74	全員	10,800	H25年度実績 ・利用登録者数 1,292 (全加入者対比：0.2%)	・特定保健指導完了者へのPR (委託機関より実施)	・低い参加率 ・特定保健指導等「はらすまダイエット」を利用した他の生活習慣改善支援プログラムからのデータ連携未対応	1
	4	健康情報検索 (ハッピーヘルシー倶楽部)	【目的】健康情報の提供 【概要】健康(病院、病気、薬等)や暮らしに関する情報の検索が可能なサイトを展開	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	3,251	H25年度実績 ・総ログイン数：9,575 (ログイン率：1.7% 全加入者対比)	－	・周知・PRの不足	1
(予 算 措 置 な し)															

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

事業主の取組										
事業名	事業の目的および概要	対象者				振り返り			共同実施	
		資格	性別	年齢		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
定期健診	【目的】労安法健診 【概要】主に、法定健診を人間ドック等を兼ねて実施	被保険者	男女	16	～	64	H25年度実績 ・35歳以上 156,589（受診率：95.2%）	・未受診者への段階的なフォローアップ	・100%受診未達成	有
健診事後措置に伴う保健指導	【目的】健診結果に基づくフォローアップ 【概要】個々人の健診結果によって、二次健診、生活習慣指導、受診勧奨等を行う。	被保険者	男女	16	～	64	-	・社内スタッフ（産業医、産業保健スタッフ等）で実施する場合、信頼関係の構築が可能	・事業所産業医療スタッフ数によって、対応内容に若干の差異が発生	無
健康増進イベント	【目的】健康保持・増進、コミュニケーションの確立 【概要】家族を含めた運動会等健康増進イベントを開催。事業所によっては本人のみの開催等もある。	被保険者 被扶養者	男女	0	～	74	-	・周知・PRの実施（事業所イントラ利用） ・事前参加者登録の実施	・参加者の固定化 ・実施内容のマンネリ化	有
EAP相談	【目的】従業員のさまざまな悩み心配ごとの解決 【概要】電話やメール等で、従業員が抱える職場、キャリア、生活全般の相談対応を実施	被保険者	男女	16	～	64	-	・専門組織「EAPセンタ」の設置 ・電話とオンライン（イントラ）での相談対応	-	無
傷病による休業者の復職支援	【目的】復職支援 【概要】復職支援システムとして、4つのステップで復職の支援を実施	被保険者	男女	16	～	64	-	・復職支援システムによる復職支援の流れが整備されている	-	無

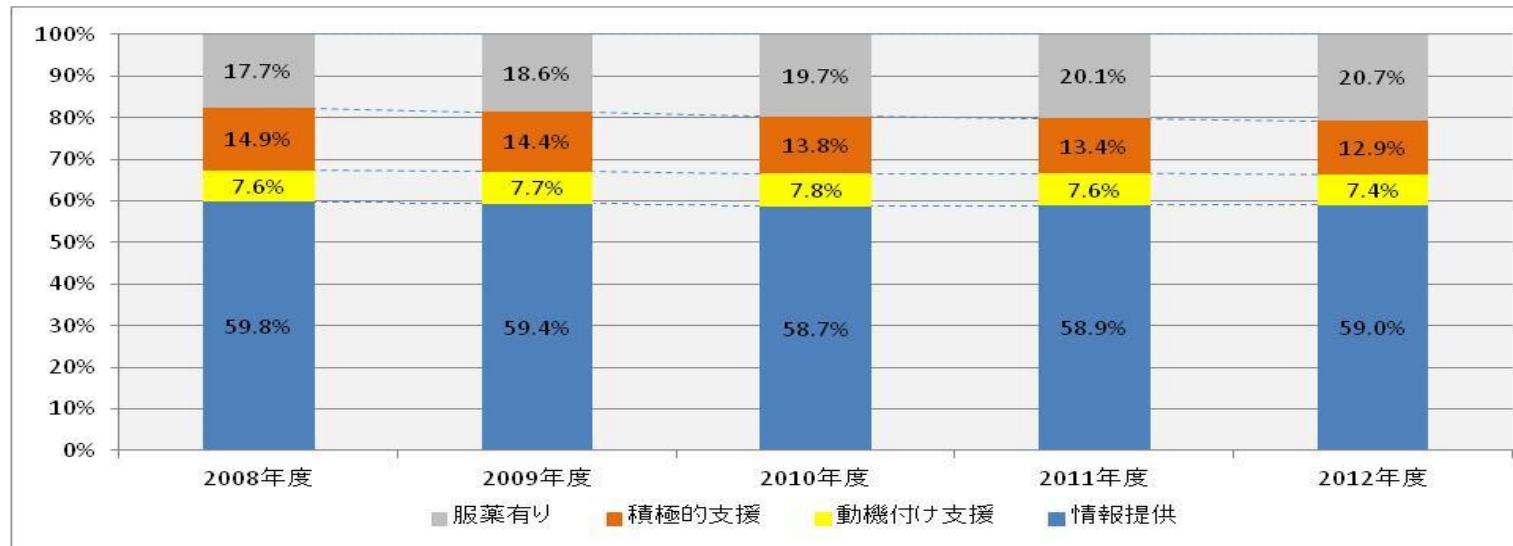
注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1:39%以下 2:40%以上 3:60%以上 4:80%以上 5:100%以上

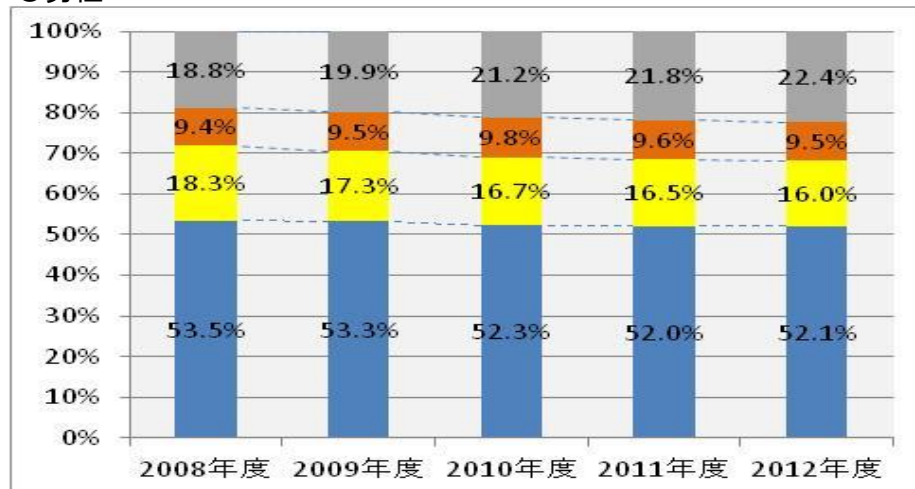
- ・健康増進・疾病予防等幅広くサービスを提供しているが、参加率（利用率）があまり高くない。
 - ・生活習慣病リスク保有者対策として、特定保健指導の他、取組みを実施しているが、実証事業段階で全体的な展開になっていない。
 - ・従業員への事業実施では、事業主と協力体制がまだ確立できていない。
- ※「メタボ重症化予防対策」と「メタボ化対策」の事業費については、「特定保健指導（積極的支援）」の事業費に含まれます。

STEP 1 - 3 (現状把握：法定階層化経年推移：2008-2012年度)

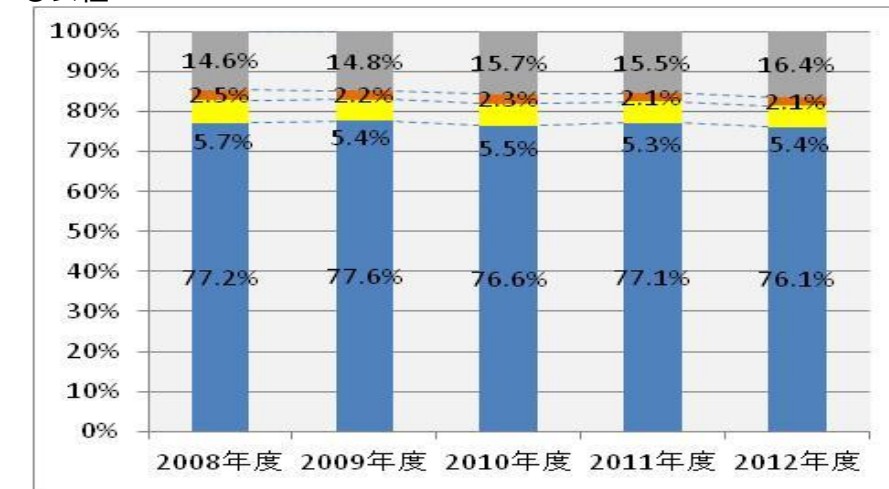
2012年度支払基金請求分



○男性



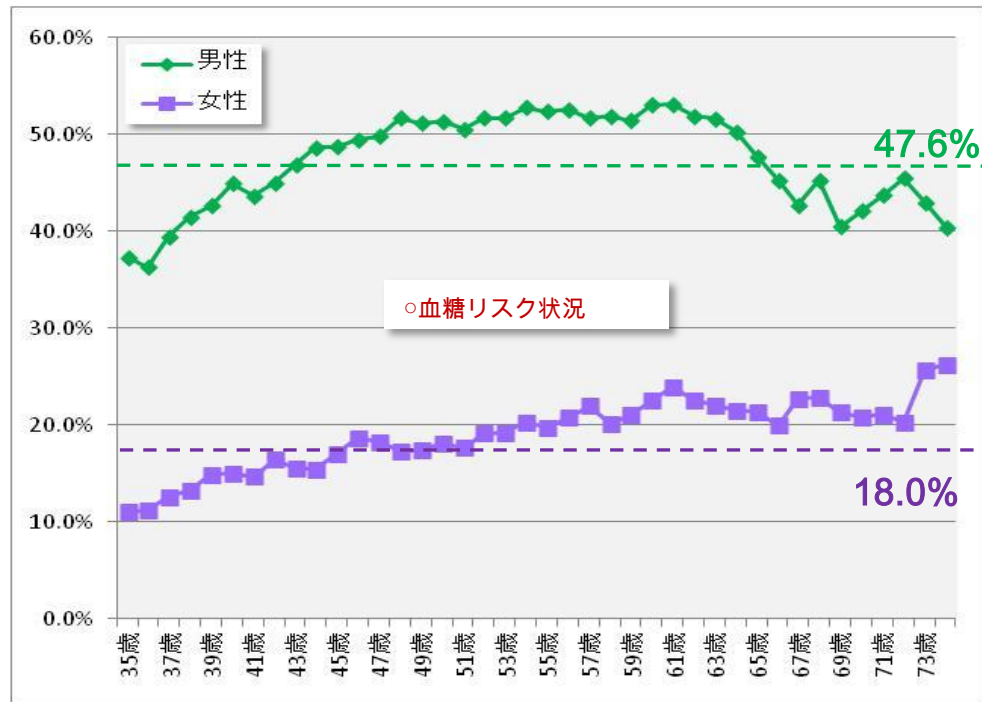
○女性



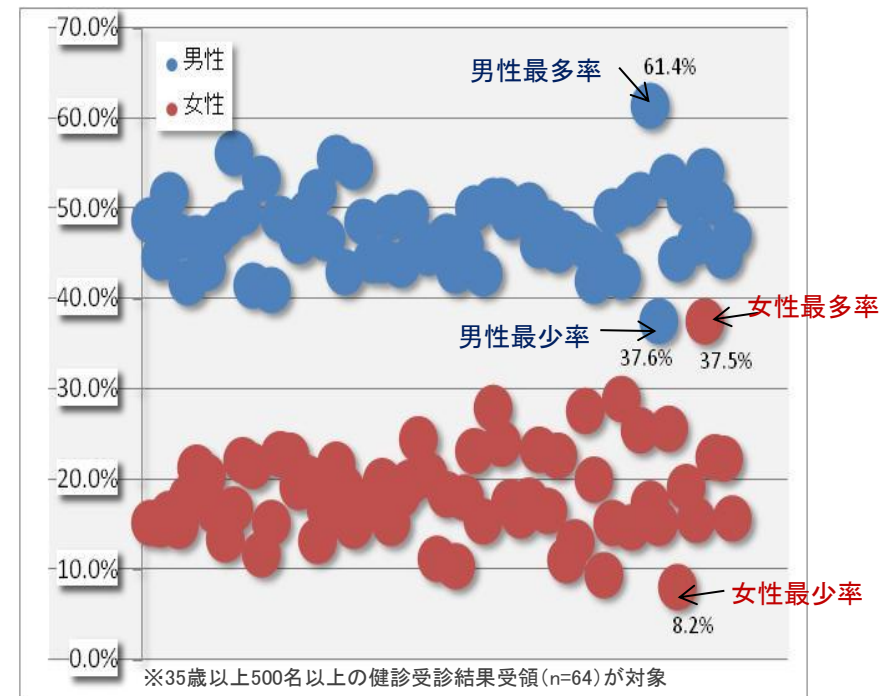
- ・健保全体(35-74歳)の2008~2012年度までの階層化結果の推移は、服薬群が徐々に増加し、服薬外群(情報提供該当群及び特定保健指導対象群)が減少。
- ・男女別では、服薬群、特定保健指導対象群いずれも男性の比率が高いが、それらの対象群が増加しているのは男女とも同じ傾向。
- ・男性は、2人に1人が服薬または特定保健指導対象で、女性は、80%弱が情報提供群であり、男女間で大きな違いが見える。

STEP 1 - 4 (基本分析：年齢階層別男女別肥満状況及び生活習慣病リスク保有状況等)

○年齢別男女別肥満状況

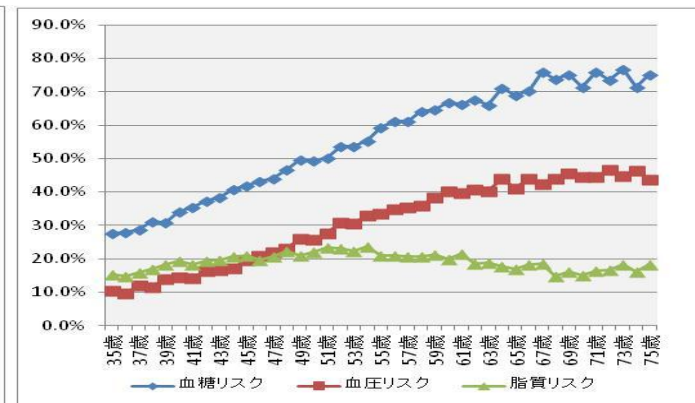
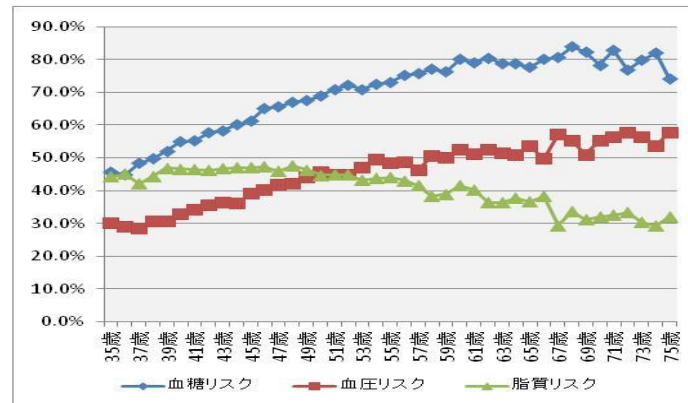


○年齢階層別肥満区分別リスク保有状況

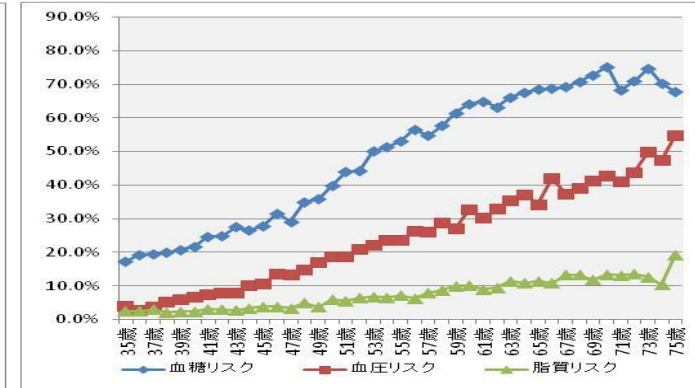
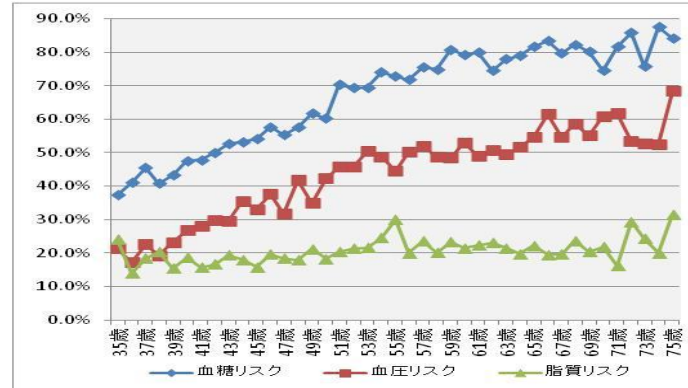


STEP 1 - 4 (基本分析：年齢階層別男女別肥満状況及び生活習慣病リスク保有状況等)

○年齢階層別肥満・非肥満群別
リスク保有状況（男性）
左図：肥満群／右図：非肥満群
※リスクは、保健指導域以上に該当



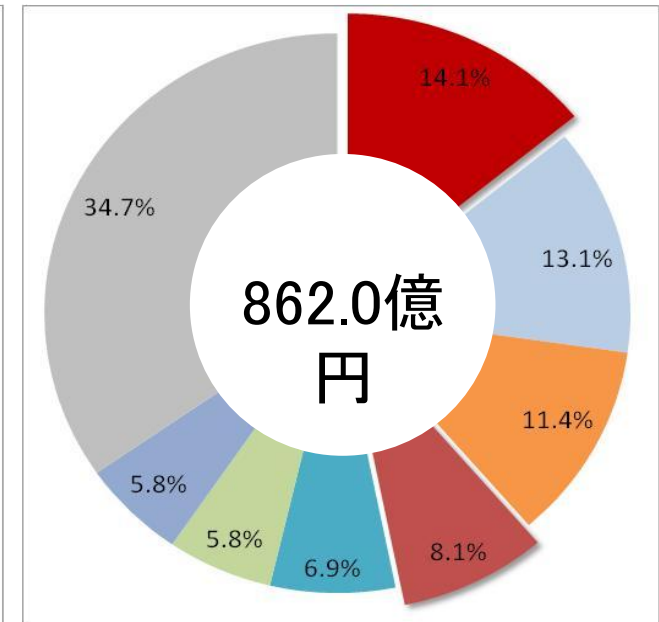
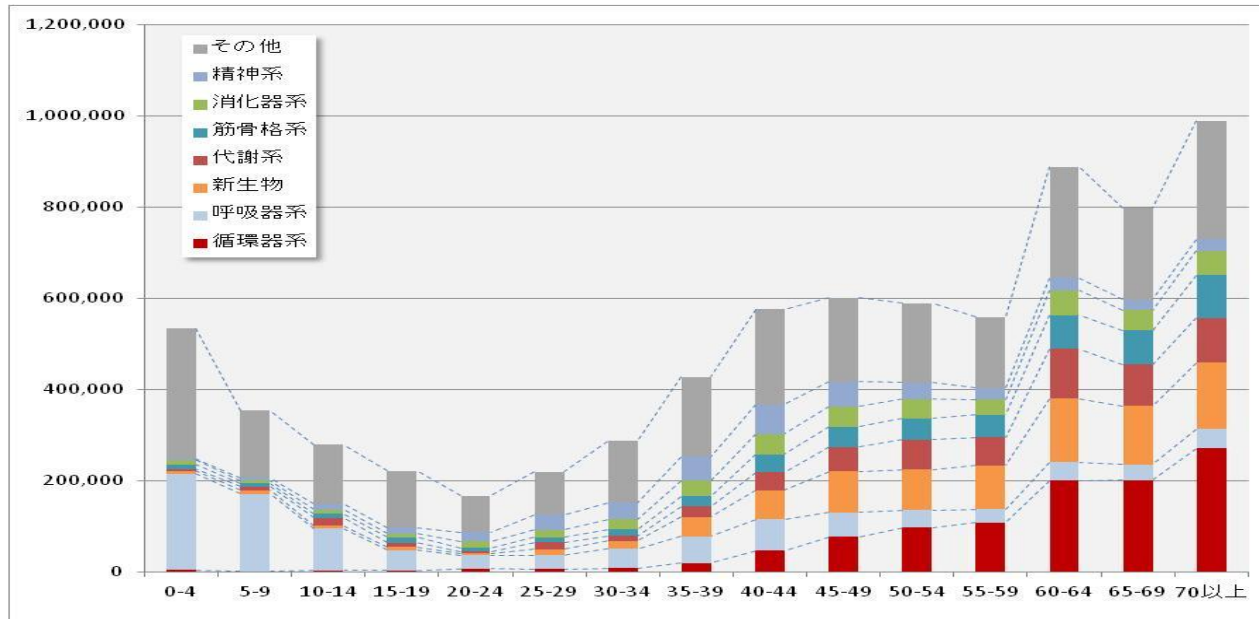
○年齢階層別肥満・非肥満群別
リスク保有状況（女性）
左図：肥満群／右図：非肥満群
※リスクは、保健指導域以上に該当



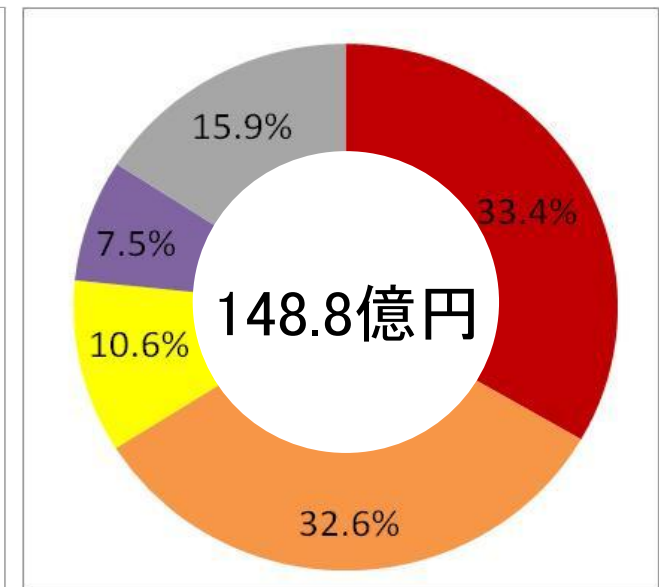
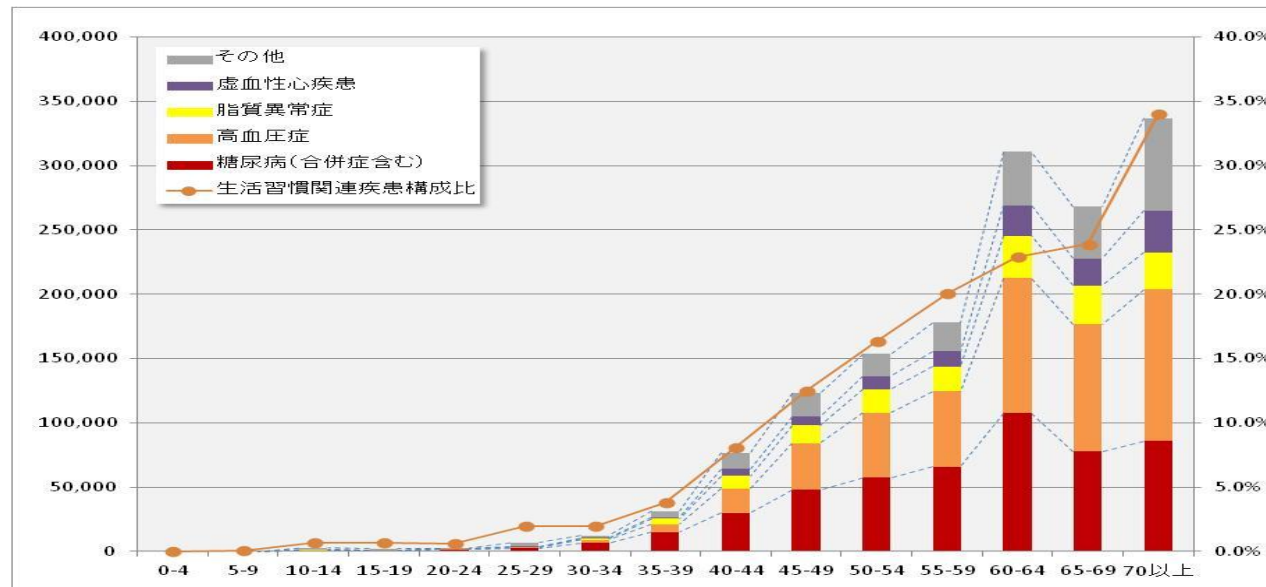
- ・年齢別の肥満状況では、男性が2人に1人が、女性は5人に1人程度が該当。事業所別では、職種や年齢等で差異が発生していると想定される。
- ・肥満群・非肥満群のリスク保有状況では、男女とも肥満群でリスク保有率が高い状況。保有リスクの種類は高血糖が該当。
- ・年齢別にリスクを見ると、血糖、血圧は加齢とともに増加傾向が見られるが、脂質系のリスクは加齢による影響は見られない。

STEP 1 - 5 (基本分析 (レセプト分析の概要))

○年齢階層別医療費状況 (2012年度支払基金請求分)



○年齢階層別生活習慣病関連疾患医療費状況 (2012年度支払基金請求分)

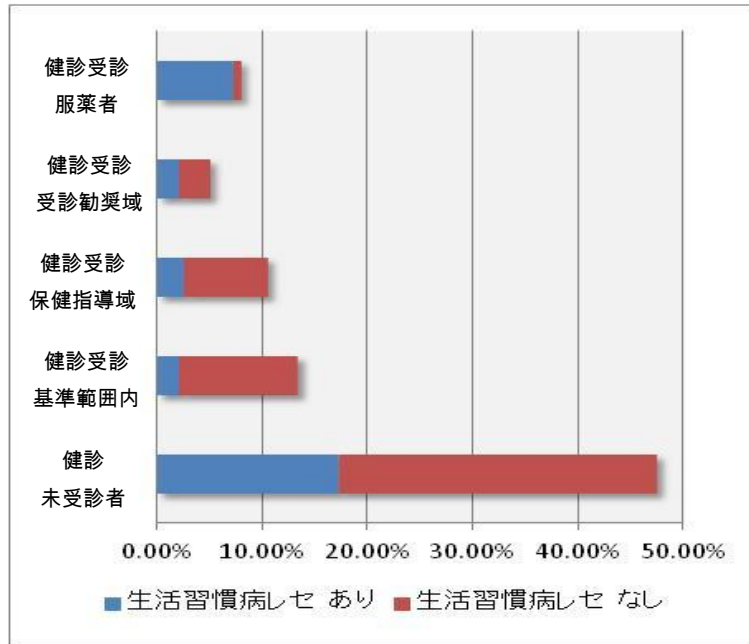


STEP 1 - 5 (基本分析 (レセプト分析の概要))

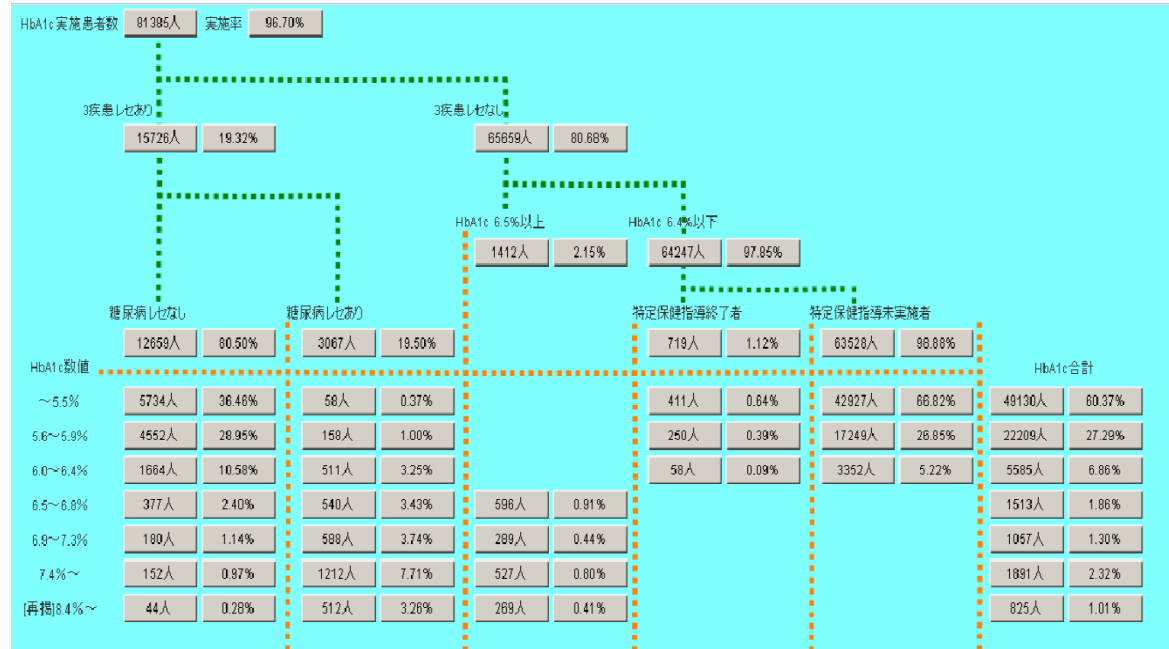
- ・疾病区分別の医療費では、「循環器系疾患」が14.1%と最も比率が高く、次いで「呼吸器系疾患」、「新生物」、「内分泌・栄養代謝系疾患」の順になっている。
- ・生活習慣病3大疾患(糖尿病・高血圧症・脂質異常症)が含まれている「循環器系疾患」と「内分泌・栄養代謝系疾患」を合わせると、22.2%になる。
- ・年齢階層別の生活習慣病3疾患は、35歳以降から増加傾向が大きく見られ、60歳代でピークを迎えている。

STEP 1 - 6 (基本分析：健診結果・レセプト突合)

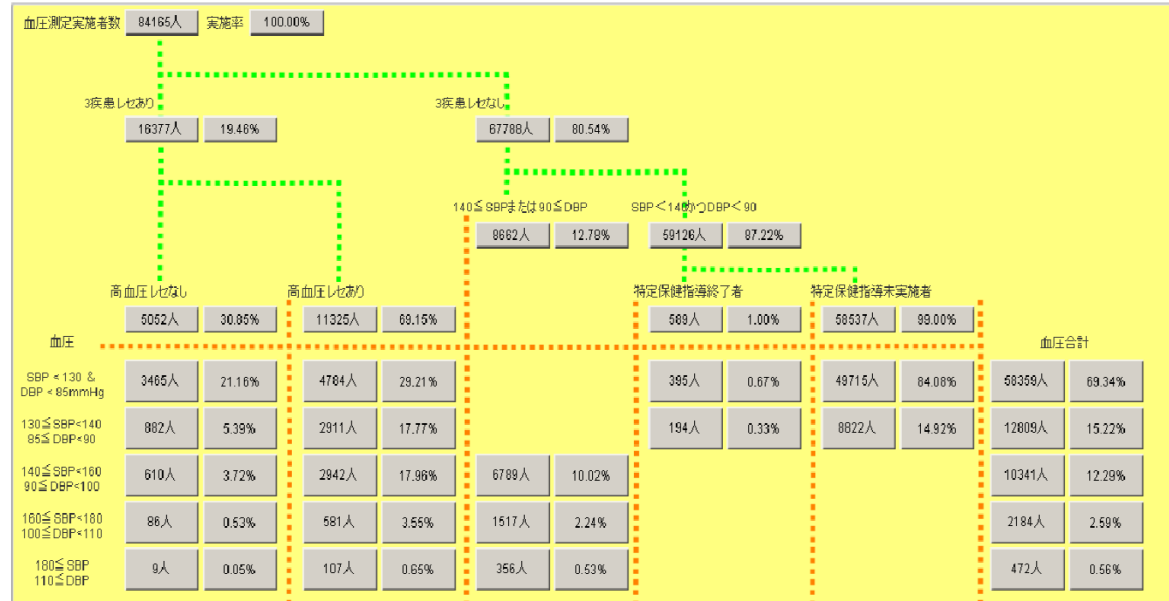
○生活習慣病・健診レベル判定と医療受診状況



【リスクフローチャート：糖尿病】



【リスクフローチャート：脳卒中／心疾患】

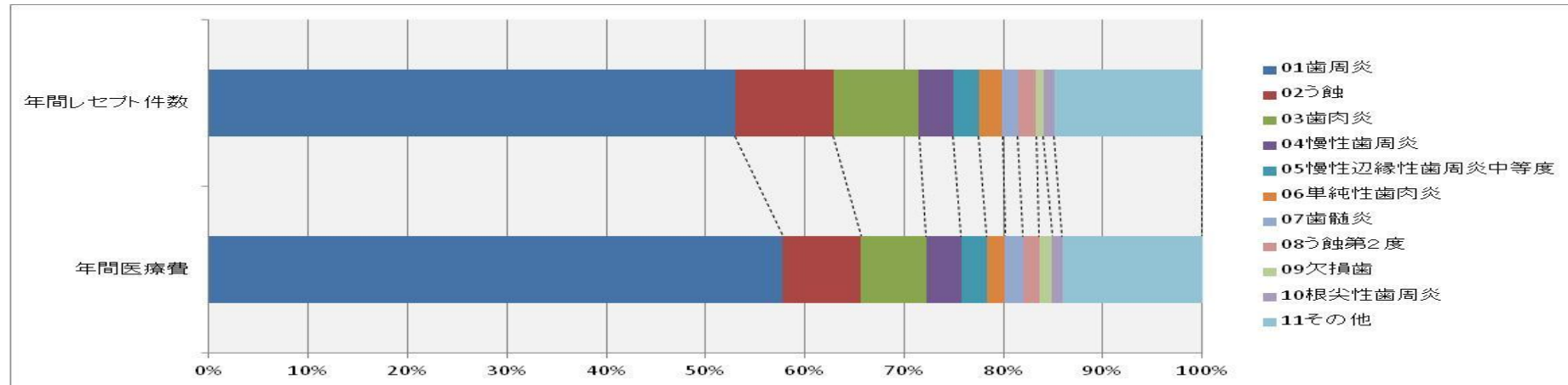


STEP 1 - 6 (基本分析：健診結果・レセプト突合)

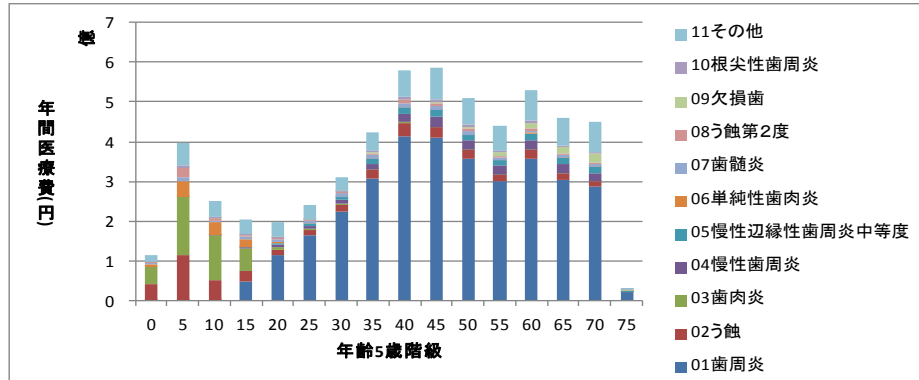
- ・健診を受診し、健診結果が受診勧奨域に該当しながら、レセプト情報が発生していない対象者と発生している対象者がそれぞれ存在している。
- ・血糖値(ヘモグロビンA1c)が受診勧奨域該当で、日本糖尿病学会が定める治療目標値(7.0%)超過群が、治療・未治療ともに複数名存在している。
- ・血圧も血糖値同様に、受診勧奨域該当、且つ、高値でありながら治療・未治療の対象者が複数名存在している。

STEP 1 - 7 (基本分析：歯科レセプトの状況)

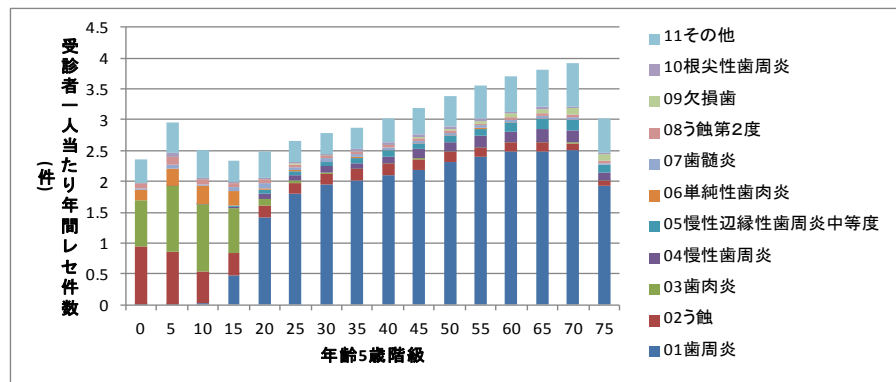
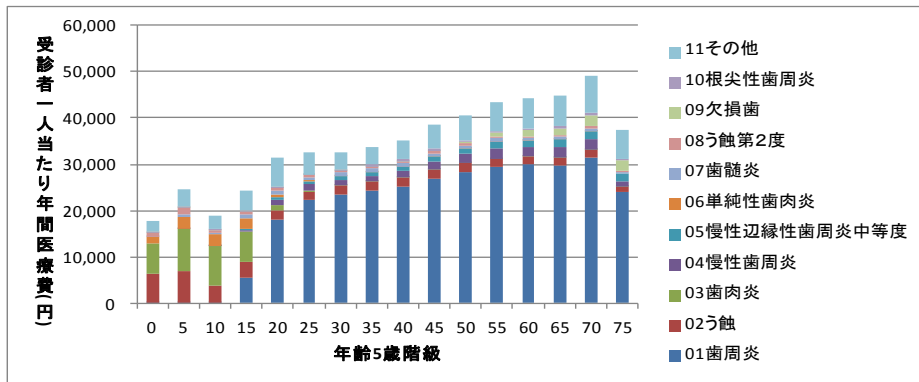
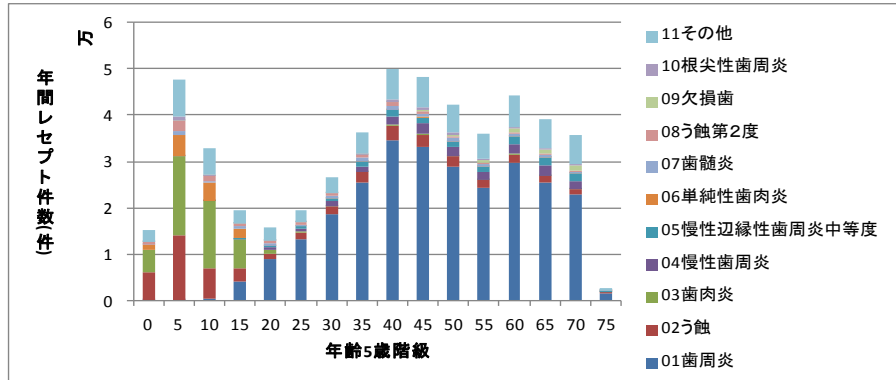
○歯科医療費状況 (2013年度歯科レセ電511,482件)



○年齢階層別歯科医療費



○年齢階層別歯科レセプト件数



※歯科医療費全体の歯科レセ電比率は、59.4%であり、上記集計は同データのみを集計

STEP 1 - 7 (基本分析：歯科レセプトの状況)

- ・歯科レセプト件数及び歯科医療費ともに、50%以上が「歯周病」で、次いで「う蝕(虫歯)」、「歯肉炎」で、これらで全体の70%強を占めている。
- ・年齢階層別では、20歳以上から「歯周病」の歯科医療費の比率が急激に高くなっている。
- ・一人当たり歯科医療費では、「歯周病」の比率が高くなる20歳以上から加齢とともに徐々に高くなっている。

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

対策の方向性

医療費分析	生活習慣病関連疾患の医療費が、「糖尿病」、「高血圧症」で約7割を占め、30歳代から徐々に増加し、40歳代から急増している。	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・全体への生活習慣病に関する意識啓発(情報提供・健康セミナー等)が必要 ・取組みは、増加が見られる30歳代からが重要
健診結果分析	35歳の肥満対象者が、既に、血糖、血圧、脂質のリスク保有率が、30～50%であることから、35歳未満での状況も大きく変わらないことが想定されることから、若年層への早期対応が必要。	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・30歳代からの生活習慣病対策が必要であり、全従業員の健診結果を保管した後に、対象者を選定し、保健指導等の対策を講じていく。 ・30歳未満については、健診結果を分析した後に、対応策を検討する。
健診結果・医療費突合分析	日本糖尿病学会、日本高血圧症学会等関連学会の疾病コントロール不良基準値超過者が、該当疾病の未治療状態（レセプト未発生）及び治療中状態（レセプト発生）それぞれで存在している。	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・未治療者へは専門治療を実施している医療機関への早期受診を行ってもらうため、受診勧奨を実施する。実施対象は、高血糖該当者から開始する。 ・治療中の状態である疾病コントロール不良者へは、保健指導等の介入を産業医や「かかりつけ医」と連携して実施する

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

医療費分析2	「新生物」の医療費が40歳代から急増しているため、早期発見・早期治療及び予防の取組みとして、受診者にとって受診しやすい環境の整備が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・法定健診（特定健診・事業主健診）とがん検診をセット化した健診メニューの提供 ・意識啓発（がんについて・がん検診の有用性について等） ・未受診者への受診勧奨
歯科医療費分析	歯科医療は、全医療費の12%と高い状況であり、その内訳としては、「歯周病」が50%以上を占め、年齢階層別では、20歳以降急激に高くなっているが、歯科検診の受診率は低く、早期発見・早期治療及び予防への取組みが必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主産業歯科医、歯科衛生士等をメンバーとした口腔衛生対策WGを立ち上げ、従業員の口腔衛生対策の企画・立案及び運用を行う。 ・歯科検診の受診率向上を行う。 ・口腔衛生対策としての情報提供を機関紙や健保ホームページ等で行う。 ・歯科検診以外の口腔衛生対策メニューの新設・提供を行う。
階層化結果分析	第一期特定健診制度の5ヶ年（2008～2012年度）では、服薬群が増加し、その他の対象群が減少する結果となった。全体的なメタボ該当者・予備群の減少には、メタボ対象群への介入に限定せず、メタボ群への流入防止、重症化予防等の網羅的な対策が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボ該当・予備群への取組みとして実施している特定保健指導以外に、メタボ群への流入防止対策として、生活習慣改善支援の取組みを実施する。 ・若年層からの取組みとして、35歳未満への保健指導等介入を行う。 ・服薬者の更なる疾病の進行を防止するため、重症化予防対策として、生活習慣改善支援を行う。

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

	特徴	対策検討時に留意すべき点
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・加入者数が多く、拠点も全国に点在している。 ・35～54歳までに加入者が多く、特に40歳代の比率が高い。 ・健保組合には、医療専門職が不在。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加入者が全国で点在していることに加え、加入者数が多いため、事業主との協働（コラボヘルス）が重要。 ・将来的な年齢構成や医療費構成を考え、30歳代からの取組みを重視。 ・各種実証事業は段階的に導入し、適宜、内容等を見直し、成功事例等を紹介しながら着実に実施していく。 ・事業主産業医、産業保健スタッフと連携を取り、医学的な知識・経験が必要な場合、十分な協力関係を構築する。
保健事業の実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・被扶養者の健診受診率が低い。 ・ウォーキング等の健康増進、歯科検診、がん検診等の参加率（受診率）がまだまだ低い。 ・生活習慣病対策として、特定保健指導の他、実証事業を開始しているが、実施規模も小さい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・健診受診促進等、対象者へのアプローチ方法に工夫を行う。 ・実証事業で実施している内容を精査し、効果的、且つ、参加者にとって取組み易い内容に工夫する。

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標 (達成時期 : 平成29年度末)		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
職場環境の整備															
その他	7	既存	事業主との協働	【目的】従業員を対象とした各種実施保健事業の企画、検討、運営、評価の実施 【概要】人事部門、産業医等をメンバーで構成する実施事業の企画・検討・評価等を行う検討委員会の設立と円滑運用を行うWGを組織化し、事業主との協働体制の確立を行う	被保険者	全て	男女	20 ~ 64	全員	3	・新規実証事業内容の企画・検討 (高血圧該当未受診者への受診勧奨) ・H26年度実施事業の結果報告	・H27年度実施事業の報告	・H28年度実施事業の報告 ・H30年度以降の目標数値の見直し	・年4回程度の定期的な会議開催	-
	7	新規	事業所毎従業員健康度報告書 (事業所健康マップ)	【目的】自事業所従業員の健康度合いの共有認識 【概要】事業所毎に従業員の生活習慣・健診・レセプトの結果情報を活用した報告書を事業所に展開し、自事業所の状況と課題、課題解決に向けた解決策を提案し、事業所が自主的に取組めるようなきっかけとなる情報を提供する。	被保険者	全て	男女	16 ~ 64	全員	3	・全事業所への展開 (一部、加入者数等条件あり)	・全事業所への展開 (一部、加入者数等条件あり) ・記載内容の見直し	・継続	・全事業所への定期的な展開 (一部、加入者数等条件あり)	-
	7	新規	事業所主体の健康維持・増進イベントの促進支援	【目的】健康意識の向上 【概要】ウォーキング等事業所が主体となって行う健康増進事業と意識啓発セミナー等の支援を行う。	被保険者	全て	男女	16 ~ 64	全員	2	・利用事業所の拡大 ・事業主表彰制度 (事業所単位でのインセンティブ制度) 導入	・継続	・継続	・健康増進事業参加者数 : 23,000人 (参加者率 : 10% 全被保険者対比) ・健康セミナー参加者数 : 11,500人 (参加者率 : 5% 全被保険者対比)	-
加入者への意識づけ															
その他	2	既存	個別の情報提供ツール	【目的】健康意識の向上と自発的な健康保持・増進の改善行動を促す 【概要】個々人の健診結果に基づく、オーダーメイド型の健康情報をWebで展開	被保険者 被扶養者	全て	男女	30 ~ 74	全員	1	・機関紙、健保ホームページで周知・PR	・メールアドレスへの健診結果登録情報連絡	・継続	・対象年齢の健診受診者全員への情報提供実施	・情報提供者50%以上の閲覧
個別の事業															
特定健康診査事業	1	既存 (法定)	特定健診 (従業員)	【目的】受診率の維持・向上 【概要】法定事業。労安法の定期健康診断を兼ねた人間ドック等の健診を事業主と連携して実施する。	被保険者	全て	男女	30 ~ 64	全員	3	・継続	・継続	・継続	・健診受診率 : 98.5%	-
	1	既存 (法定)	特定健診 (被扶養者)	【目的】受診率の向上 【概要】法定事業。メタボに着目した健康状況の把握及びリスク者のスクリーニング。婦人科検診項目をセット化した健診メニューの提供、巡回型健診等の実施により、受診率向上を図る。	被扶養者	全て	女性	30 ~ 64	全員	1	・巡回型健診の実施 (全国) ・日立デー (契約機関貸切健診) の実施 (全国) ・被保険者経由での受診促進 ・被保険者受診健診機関からの家族受診促進 (新規)	・継続	・継続	-	・健診受診率 : 75.0%
	1	既存	特定健診 (65歳以上加入者)	【目的】受診率の向上 【概要】法定事業。メタボに着目した健康状況の把握及びリスク者のスクリーニング。婦人科検診項目をセット化した健診メニューの提供、巡回型健診等の実施により、受診率向上を図る。	被保険者 被扶養者	全て	男女	65 ~ 74	全員	1	・巡回型健診の実施 (全国) ・日立デー (契約機関貸切健診) の実施 (全国) ・被保険者経由での受診促進 ・被保険者受診健診機関からの家族受診促進 (新規)	・継続	・継続	-	・健診受診率 : 50.0%

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標 (達成時期 : 平成29年度末)		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
特定保健指導事業	3	既存 (法定)	特定保健指導 (積極的支援)	【目的】メタボ該当者・予備群の減少 【概要】特定保健指導対象者に対し、積極的支援の内容を実施	被保険者	全て	男女	35 ~ 60	基準対象者	1	・継続	・対象年齢の見直し (35歳未満への対応)	・被保険者以外への展開を検討	・参加率 : 50%以上	・参加者の脱メタボ率 : 40%以上
保健指導宣伝	4	既存	機関紙発行	【目的】加入者への情報提供 【概要】健保情報 (健康情報含む) を従業員以外の被保険者に、自宅へ紙媒体を送付	被保険者被扶養者	全て	男女	16 ~ 74	全員	1	・掲載内容の工夫。	・継続	・継続	・従業員以外の被保険者全員への自宅送付	-
	4	既存	健保ホームページ	【目的】加入者への情報提供 【概要】健保情報 (健康情報含む) をWebで提供	被保険者被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	・掲載内容の工夫 ・タイムリーな情報提供	・継続	・継続	・閲覧率の向上	-
	7	既存	後発医薬品の差額通知	【目的】ジェネリック医薬品の使用促進 【概要】糖尿病等生活習慣病関連疾患の罹患患者で服薬中の対象者に対し、差額通知を送付し、ジェネリック医薬品への切り替えを促進する	被保険者被扶養者	全て	男女	20 ~ 74	基準対象者	1	・対象疾病の追加 (アレルギー関連)	・継続	・対象疾病の追加見直し	・該当者への差額通知送付率 : 100%	・切替率 : 50%
疾病予防	3	新規	受診勧奨	【目的】早期治療による疾病コントロール対応 【概要】疾病コントロール不良域該当、且つ、未受療者へ保健師、看護師等の専門スタッフが、該当疾病の情報提供と医療機関での受診を促進し、早期受診を促す	被保険者	一部の事業所	男女	35 ~ 64	基準対象者	3	・高血糖を対象 (実施事業所数 : 100)	・高血糖を継続対象 (実施事業所数 : 200) ・高血圧対象を追加 (実施事業所数 : 100)	・高血糖、高血圧を継続実施 (全事業所)	・該当者の受療率 50%以上	・血糖、血圧の管理
	4	新規	口腔保健対策	【目的】歯科衛生への取組み意識の向上 【概要】歯科衛生対策としての、意識啓発セミナー、体験型イベント等の実施	被保険者	全て	男女	16 ~ 64	全員	3	・基盤事業の意識啓発セミナーに、口腔保健対策関連セミナーを追加 ・体験型イベントの一部事業所での実証事業実施	・体験型イベント等、口腔保健対策メニューの作成	・継続	・口腔保健対策関連セミナー実施事業所数100 (実施率 : 30% 全事業所対比)	・歯科検診受診率50%以上
	1	既存	歯科検診	【目的】口腔ケア、早期発見・早期治療及び予防 【概要】希望者に対し、口腔内診査と保健指導を実施。従業員に対しては、巡回型の集団検診を実施	被保険者被扶養者	全て	男女	16 ~ 74	全員	1	・歯科検診の重要性の周知・PR	・歯科検診未実施事業所への実施促進	・継続	・検診受診率 : 25%以上	・有所見者の自発的な歯科医療機関の受診 ・歯周病者の減少
	1	既存	部位検診 (がん検診含む)	【目的】がん検診等の早期発見・早期治療及び予防 【概要】特定部位 (がん検診他) の検診について、検査費用の一部補助を実施。疾病別発症年齢等により補助対象年齢が異なる	被保険者被扶養者	全て	男女	25 ~ 74	基準対象者	1	・該当疾病に関する情報提供及び意識啓発	・継続	・二次健診受診についての情報提供	・受診率 : 50%以上	・有所見者の自発的な二次健診等医療機関の受診 ・要検者の減少
	4	既存	歯科衛生用品の配布	【目的】歯磨き等歯科衛生への取組み意識の啓発 【概要】年度末年齢6歳の被扶養者に対し、歯科衛生用品と歯磨き「イト」を被保険者経由で送付し、正しい歯磨き	被扶養者	全て	男女	6 ~ 6	全員	1	・継続	・継続	・継続	・対象者全員への送付	-

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標 (達成時期 : 平成29年度末)		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
	7	既存	常備薬斡旋	【目的】自発的な疾病予防 【概要】健保の実施事業や疾病対策に関連する医薬品等を掲載し、比較的安価に斡旋することで自発的な予防対策に取り組んでもらう。	被保険者被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	・掲載品目の適宜見直し	・健保ホームページを利用した、季節毎の情報提供	・継続	-	-
	4	既存	禁煙対策	【目的】禁煙 【概要】Web上で禁煙日記等を付けて、自身で取組む禁煙対策と、保険証未使用機関での禁煙成功者への一部費用補助を実施	被保険者被扶養者	全て	男女	20 ~ 74	基準対象者	3	・周知・PRの実施（機関紙、健保ホームページ、事業所ポスター配布等）	・事業主と共同事業の検討	・継続	・喫煙者の取組み率の向上	・H24年度喫煙率（26.1%：35歳以上特定健診受診者実績）より、10%減
その他	3	既存	メタボ化予防	【目的】メタボ該当・予備群への移行防止 【概要】メタボ該当・予備群への移行の可能性が高い群に対し、Webで完結する90日間の生活習慣改善支援プログラムを実施	被保険者	一部の事業所	男女	35 ~ 64	基準対象者	3	・実証事業実施事業所数：100	・実証事業実施事業所数：200	・実証事業実施事業所数：300	・参加率30%以上	・実施翌年度のメタボ該当・予備群移行率 ・プログラム終了時の減量成功率：70%以上
	3	既存	メタボ重症化予防	【目的】糖尿病等生活習慣病発症予防・疾病進行抑制 【概要】肥満目つ特定健診項目受診勧奨域未受診者及び服薬者を対象に、生活習慣改善支援を実施。	被保険者	一部の事業所	男女	35 ~ 64	基準対象者	3	・実証事業実施事業所数：100	・実証事業実施事業所数：200	・実証事業実施事業所数：300	・参加率：40%以上	・実施翌年度の ・プログラム終了時の減量成功率：70%以上
	4	既存	ウォーキング・プログラム	【目的】健康保持・増進 【概要】多機能歩数計とPCを利用し、Web上で家族や仲間と歩数を競い合ったり、歩くをテーマに楽しみながら健康保持・増進に取り組む	被保険者被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	・チーム対抗で楽しめる新機能の追加 ・秋のウォーキング・キャンペーン実施	・USBメモリー以外からの歩数登録機能の追加 ・新コースの追加	・継続	・参加者数：50,000名以上（参加率：10%以上 全加入者数対比）	-
	4	既存	セルフモニタリング（はらすまダイエットライト版）	【目的】健康保持・減量 【概要】体重、歩数といった日々の情報や活動データを入力し、90日間で5%の体重減をめざす、Webで完結する自己管理型サービス	被保険者被扶養者	全て	男女	16 ~ 74	全員	1	・特定保健指導、メタボ化予防等他の「はらすまダイエット」利用者の歩数データの閲覧対応	・ヘルスケアポイント（インセンティブ制度）対応の検討	・継続	・利用登録者数：5,000名以上（利用率：1%以上 全加入者対比）	-
	6	既存	ファミリー健康相談	【目的】心身の健康度向上と不安の排除 【概要】自身や家族に関する相談を、保健師、看護師等の医療専門職に、電話やWeb等でできる。	被保険者被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	・機関紙、健保ホームページでの周知・PR	・継続	・継続	-	-
	4	既存	健康情報検索（ハッピーヘルシー倶楽部）	【目的】情報提供・意識啓発 【概要】健康（病院、病気、薬等）や暮らしに役立つ情報の検索が可能なサイトを展開。	被保険者被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	・機関紙、健保ホームページ等での周知・PR	・継続	・継続	・閲覧率の向上（閲覧率：3%以上）	-

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業